

## 2024年 春季参加報告書

参加プログラム：トゥレーヌ学院

参加時の学年：2年、学部：人文、学科：ヨーロッパ文化

私の今回の留学の目的は主にリスニング力とスピーキング力の向上とフランスの文化や生活について知ること、そして様々な国のの人々とコミュニケーションをとることでした。実際にフランスで生活することで、日常生活で使うフランス語に触れたり、日本とは異なるフランスの文化への理解を深めたりする機会を持ちたいと思いこのプログラムに参加しました。私は留学やホームステイの経験がなく海外に行くことすら初めてだったため、すべての経験が新鮮で日本とは異なる文化に驚くことが多かったです。

ホームステイ先に着いたとき私はとても緊張していて、その上現地の人の会話のスピードの速さに圧倒されてしまい最初の頃はあまり会話ができませんでした。しかし、私が理解できるようになるべくゆっくり話してくれたり、フランス語での表現が分からないときや私の発音が悪く中々伝わらない時も翻訳機などを活用しながらもわかるまで根気強く耳を傾けてくれたことで、少しずつフランス語で会話することに少し前向きになることが出来ました。

授業も最初の一週間は先生の話やクラスメイトの話がほとんど聞き取れず苦労しましたが少しずつ耳が慣れてきて、先生のジョークまで聞き取れたときはすごく嬉しかったです。私のクラスの先生は話すことをとても重視していたためペアワークや会話の授業が多く、また日本人がほとんどいなかったため、フランス語で話すことに全く慣れていなかった私にとって授業は最初とても難しく感じましたが、苦手なことに挑戦し続けられる環境にいたおかげで大きく成長できました。最初は間違えることを恐れて中々発言できずにいましたが、文法や単語が間違っても積極的に話そうとする他国のクラスメイトたちを見て少しずつ自分から発言したり、休憩中他の生徒に話しかけたり、長く話したりできるようになっていって成長を感じる事が出来ました。



シャワーの短さや部屋の暗さ、料理が順番に出されること、ホームレスの多さやエコバック文化など、今回の滞在中たくさんの驚きがありましたがその中で印象に残っている出来事は度々日本語で話しかけられたことです。トラムに乗っていた時、隣の男性が「こんにちは」と話しかけてきてとても驚きました。行く前は中国人に間違えられることが多いと思っていましたが、一度もそんなことはなく、逆に「日本人？」と聞かれることが多くとても意外でした。日本の漫画が本屋にずらりと並んでいたり、トゥールも日本食屋さんがあったり、日本語を見かけることも度々あり、日本文化が思った以上に浸透していたことにも驚きました。また、お店の人や道行く人にあいさつをしたり、交通機関やカフェなどで話しかけられたりすることは日本ではほとんどないため新鮮でした。お店を出るときや別れ際に「bonne journée」と声をかけるなど、挨拶を大切にする文化がとてもいいなと感じました。

今回の実習を通して成長を感じた点は、間違えてもいいからとにかく話してみようと思えるようになったことです。他国の生徒たちは正しいフランス語を使えているかどうかはあまり気にしていない様で、拙くてもとにかく伝えるために工夫して話し続けていて、その楽しそうに話す姿をみて、授業中でもそれ以外でも少しずつ積極的に話せるようになれましたし、ジェスチャーを使ったり言葉を言い換えたりすることも伝える上で重要だと気づけました。また、以前は他人と意見が違くと不安に感じていましたが、色々な国の人と交流して様々な考え方や文化に触れたことで、人の目を気にしすぎないで自分の価値観や考え方も大切にしようと思えました。また、学習面では、現地の人と会話を通して、リスニング力の低さやとっさに出てくる語彙の少なさなど自分の弱い部分を知ることが出来たことも良かったと思います。今後は今回弱く感じたリスニング力を伸ばすため教材やラジオなどを活用しながら勉強を続けたいと思います。また、会話の際にとっさに出せるレベルの語彙を増やすためにフランス語の長文や本をたくさん読もうと思いました。今回この実習に参加したことで、もっと色々な国の人とコミュニケーションを取ってみたいと感じたため、英語にも力を入れようと思いました。フランス以外の国もいつか訪れてみたいです。

